

## インフルエンザ・ワクチンの効果に関する 研究デザインはどうあるべきか？

*What the study design on the efficacy and/or effectiveness of  
influenza vaccination should be?*

講師： 丹後俊郎（医学統計学研究センター）

日時： 令和7年8月8日（金） PM1：15～PM4：30

会場： 汐留イタリア街東京茶業会館 6F 会議室（港区東新橋2-8-5）

参考書： 丹後俊郎著、新版「統計学のセンス - デザインする視点・データを見る目」朝倉書店、2018.

対象： 臨床医学、公衆衛生学、疫学などの研究に従事している大学院生、研究者、実務家、  
臨床開発に従事している製薬企業の統計担当者、その他、本セミナーに興味のある者

参加費： 参加申し込み区分（税込）：

A：アカデミック 12,000円 参加申込方法詳細は次ページをご覧ください  
（大学・病院・大学に所属する研究機関所属の方）

B：ノン・アカデミック 24,000円 申し訳ございませんが、インボイス制度対応しておりません

催行人数： 最小催行人数5名（10日前7/29（火）の時点で最小催行人数に至らない場合  
開催中止とさせていただきます。ご了承ください）

### セミナーの内容：

話は少々古くなるが、1987年に作成された「インフルエンザ流行防止に関する研究班」の報告書を、当時の公衆衛生審議会が検討し、同年に意見書を公表しているが、その骨子は「個人に対しては発病防止効果、重症化防止効果などの点で利益を与えている」という内容であった。しかし、丹後、他（1990、日本公衛誌）は、小学生を対象とした類似の調査データを再解析することにより、厚生省研究班が示した効果が、実は、児童の「普段の健康度」に交絡した「見かけの効果」、であった可能性が強いことを示した。

それから約30年経過した現在の状況はどうだろうか？最近では、病院を自分の意思で受診した患者さんだけを対象としたTest Negative Designによる研究が世界的に増加している。つまり、医師の日常の診療活動の中で実施できる「楽な研究デザイン」である。そのデザインから推定される有効率は、例えば、43%などと推定される。一体、この43%とは何を意味するのだろうか？

本セミナーでは、昔から論争が絶えない「インフルエンザ・ワクチンは効く、効かない」の議論ではなく、「インフルエンザ・ワクチンの有効性に関する研究」を例に挙げて、一般国民にも理解でき、かつ、適切な推定結果が得られるための研究デザインはどうあるべきか、について解説するとともに、参加者の皆さんと議論したい。

## セミナー開催の有無と参加費のお支払いについて

開催日の10日前7/29(火)までに開催の有無をご連絡させていただきます。その時点で振込先の連絡を申し上げます。(請求書をご希望いただいた方には請求書をお送り致します。)振込は8/29(金)までをお願い致します。請求書、領収証、参加証明書の発行は、基本省略させていただきますが、ご希望される方に発行致しておりますので、備考欄でその旨、お申し付け下さい。

### キャンセルポリシー

セミナー開催の5日前8/3(日)23:59まで無料でキャンセル承ります。8/4(月)以降はキャンセル不可、全額のキャンセル料をご請求させていただきます。ただし代理受講を認めますので、代理の方に受講いただく際には、代理いただく方の氏名、所属、連絡先をご連絡下さい。

### 参加申込方法：

参加希望の方で、上記にご了解をいただけます方は、E-mailにて事前申込をお願い致します。

**8/4** (Mon) までに、

宛先：[secretary@medstat.jp](mailto:secretary@medstat.jp)

件名：8月8日第3回セミナー参加申込

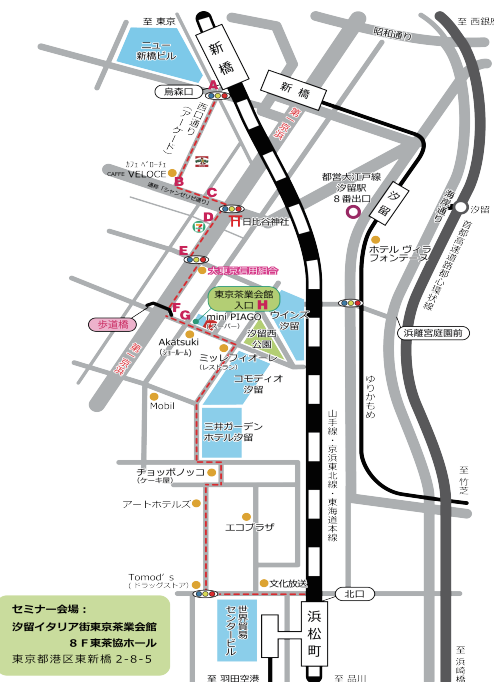
本文：A. ご氏名 B. ご所属 C. 参加申し込み区分

D. 備考(請求書・領収書・参加証明希望はこちらでご指示下さい)

参加申し込みいただいた方には、数日以内に「セミナー参加申込受付完了」のメールをお送り致しますので、申し込み後数日たってもこれを受信しない場合は、確認のご連絡をお願い致します。

### 会場アクセス：

※  
オンラインとのハイブリッドではなく、対面のみとなります



**東京茶業会館 6F  
会議室  
港区東新橋 2-8-5**

JR「浜松町」駅「新橋」駅  
地下鉄大江戸線・ゆりかもめ  
「汐留」駅、地下鉄三田線  
「御成門」駅より 徒歩7分  
地下鉄浅草線・大江戸線  
「大門」駅より 徒歩8分

<http://medstat.jp/info/mapseminar2017jan.pdf> に新橋から会場までの説明案内がございます。詳細はそちらをご覧ください。